

平成30年 第12回

川西市教育委員会（定例会）議事録

川 西 市 教 育 委 員 会

会議日程・付議事件	1
出席者	2
説明のため出席を求めた者	3
議事録作成者	3
審議結果	4
会議の顛末（速記録）	5 ~ 24

会議日程・付議事件

会議日時 平成30年8月16日(木) 午後2時00分

場 所 川西市役所 4階 庁議室

日程 番号	議案 番号	付 議 事 件	備 考
1		議事録署名委員の選任	
2		前回議事録の承認	
3		事務状況報告	
4	報告第10号	専決報告について(平成30年度川西市一般会計補正予算について)	
5	議案第42号	川西市立幼稚園規則及び川西市教育委員会公印規則の一部を改正する規則の制定について	
6	議案第43号	川西市立保育所条例施行規則及び川西市立幼保連携型認定こども園規則の一部を改正する規則の制定について	
7		諸報告	

出席者

教 育 長 石 田 剛

委 員 加 藤 隆一郎
(教育長職務代理者)

委 員 服 部 保

委 員 鈴 木 温 美

説明のため出席を求めた者

教 育 推 進 部 長	若 生 雅 史
こ ども 未 来 部 長	中 塚 一 司
教 育 推 進 部 副 部 長	中 西 哲
教 育 推 進 部 副 部 長 (学 校 教 育 担 当)	株 本 一 男
こ ども 未 来 部 副 部 長	山 元 昇
教 育 総 務 課 長	武 富 祥 平
学 務 課 長	志 波 仁 史
学 校 教 育 課 長	西 門 隆 博
教 育 支 援 セ ン タ ー 所 長	荒 木 浩
教 育 支 援 セ ン タ ー 主 幹	土 本 純 平
社 会 教 育 課 長	大 屋 敷 美 子
社 会 教 育 課 主 幹 兼 文 化 財 資 料 館 長	田 中 肇
中 央 図 書 館 長	村 山 尚 子
中 央 公 民 館 長	藤 井 恵 子
こ ども 支 援 課 長	岩 脇 茂 樹
幼 児 教 育 保 育 課 長	丸 野 俊 一
幼 児 教 育 保 育 課 主 幹	河 南 裕 美
こども・若者ステーション(開設準備担当) 所 長 兼 青 少 年 セ ン タ ー 所 長	増 田 善 則

議事録作成者

教 育 総 務 課 主 査 四 方 田 政 樹

議案等審議結果

議案 番号	議 案 名	提 出 年月日	議 決 年月日	議 決 結 果
報告 10	専決報告について（平成30年度川西市一般会計補正予算について）	30.8.16	30.8.16	承認
議案 42	川西市立幼稚園規則及び川西市教育委員会公印規則の一部を改正する規則の制定について	30.8.16	30.8.16	可決
議案 43	川西市立保育所条例施行規則及び川西市立幼保連携型認定こども園規則の一部を改正する規則の制定について	30.8.16	30.8.16	可決

[開会 午後 1 時 5 9 分]

石田教育長 それでは、只今より、平成 3 0 年第 1 2 回川西市教育委員会（定例会）を開会いたします。

石田教育長 それでは、「本日の出席者」をご報告いたします。本日は、全員出席でございます。
なお、「事務局職員の出欠」につきましては、事務局から報告をお願いいたします。

教育総務課長（武富） 本日の「事務局職員の出欠」について、ご報告申し上げます。
本日は、小林公共施設マネジメント課主幹が欠席でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

石田教育長 次に、本日の「議事日程」につきましては、配付しております議事日程表のとおりであります。

石田教育長 これより日程に入ります。日程第 1 「議事録署名委員の選任」を行います。教育長において、服部委員、鈴木委員を指名いたします。よろしくお願いいたします。

石田教育長 では次に、日程第 2 「前回議事録の承認」でございますが、事務局において調製し、第 1 0 回定例会及び第 1 1 回臨時会の議事録の写しをお手元に配付しております。事務局から説明をお願いいたします。

教育総務課長（武富） それでは、第 1 0 回定例会の議事録につきまして、ご説明申し上げます。
1 ページに会議日程・付議事件、2 ページに出席者を、3 ページに説明のため出席を求めた者、4 ページに審議結果を掲載してございます。議事録につきましては、5 ページからでございます。会議次第に基づきましてご審議いただきました経過等につきまして、調製させていただいております。

また、第 1 1 回臨時会につきましても同様に調製させていただいておりますが、非公開案件であるため、詳細な審議経過につきましては非公開とさせていただきます。

署名委員の署名につきましては、第 1 0 回定例会については鈴木委員、加藤委員に、第 1 1 回臨時会については加藤委員、服部委員にご署名を頂戴しております。

以上でございます。

石田教育長 説明は終わりました。只今の説明について、質疑はございませんか。よろしいですか。

石田教育長 それでは、お諮りいたします。第10回定例会及び第11回臨時会の議事録につきまして、これを承認することにご異議はございませんか。

(「異議なし」の声)

石田教育長 ご異議なしと認めます。よって、議事録につきましては、承認されました。

石田教育長 では次に、日程第3「事務状況報告」であります。事務局から報告をお願いいたします。

教育推進部長 (若生) それでは、1点目、平成30年度外国語教育推進事業にかかる外国語指導助手、いわゆるALTの着任について、ご報告いたします。

本年度、児童生徒の英語力の向上を図るため、小学校、中学校、特別支援学校へのALTの配置拡充を予定しているところですが、先日8月1日に2名、8日に5名、計7名のALTが新たに着任いたしました。

このALTは、総務省・外務省・文部科学省及び一般財団法人自治体国際化協会(CLAIR)の協力のもとに行われている語学指導等を行う外国青年招致事業、いわゆるJETプログラムを活用して配置するものでございます。

今後の予定でございますが、8月中は市役所等で研修を行い、8月27日より順次、現在、本市で雇用しているALT1名とともに配置を開始してまいります。

それぞれのALTは、市立学校の2校から3校を拠点校としながら外国語の指導を行っていく予定となっており、子どもたちとの出会いを非常に楽しみにしているところでございます。

なお、もう1名、JETプログラムによるALTが派遣される予定となっております。

こども未来部長 (中塚) 続きまして、こども未来部から、2点目の「平成30年度第1回川西市子ども・子育て会議の開催について」ご報告させていただきます。

去る8月5日に、今年度第1回目となります川西市子ども・子育て会議を開催いたしました。当日は、委嘱しています委員15名のうち11名の方にご出席いただき、またあわせまして、今回は加茂こども園の園区の設定に関する議事が含まれていましたことから、川西・加茂の両幼稚園長と当該地域の主任児童委員2名の合計4名の方に、臨時委員としてご出席をいただきました。

当日、ご審議いただきました議事は7項目ございましたが、まず、待機児童に関して保育と留守家庭児童育成クラブの今年度当初における状況について、保育では4月時点で36人、留守家庭児童育成クラブでは5月時点で32人の待機児童が、それぞれ生じている状況などについてご報告いたしました。

続きまして、後ほど議案第43号でご審議いただきますが、今年度末完成予定の市立加茂こども園の園区設定についてのご協議をいただき、来年度は現在の設定と同様に、1号認定については加茂幼稚園の園区を引き継ぎ、2号、3号認定は園区を設定しないとする案にご同意いただきました。

しかしながら、市立幼稚園の園区の設定に関しましては、小学校区との関係など課題も指摘されていることから、川西幼稚園と川西保育所を一体化する(仮称)川西こども園の開設に合わせ、今後も継続して検討したいと考えております。

その他の議事では、次期子ども・子育て計画の策定に用います市民ニーズ調査の実施計画や、保育所等施設整備運営事業者の募集に関して専門部会を設置することなどのほか、現行計画に記載する事業評価や(仮称)川西こども園整備の進捗状況などについても報告を行い、委員の皆様方からさまざまなご意見を頂戴しております。

特に、現行計画における事業評価に関しまして、事業実施のPR不足により目標達成に至らなかったとする評価コメントに対して積極的な改善を求めるご意見や、(仮称)川西こども園の整備に関しては、地域の保護者に対して、できるだけ早い段階での情報提供を行うべきとのご意見などもいただきました。

次回の子ども・子育て会議の開催につきましては、保育所等整備事業者の公募の状況や、次期子ども・子育て計画の策定に関するスケジュールなどに基づいて、適切な時期を設定していきたいと考えております。

私からは以上でございます。

教育推進部長 (若生) 続きまして、3点目、7月分の教育委員の皆様方の活動についてご報告いたします。

加藤委員には、校長の管理職面接、教科書採択協議会にご出席いただきました。加えて、東京の学士会館にて第2回全国市町村教育委員会連合会常任理事会にご出席いただいたほか、兵庫県市町村常任理事会、県教育委員会連合会への要望書の提出、県教育委員会連合会機構検討委員会、兵庫県政150周年記念式典、播磨東市町村教育委員会連合会総会にご出席をいただきました。

服部委員には、キセラ公園のクヌギについて、市関係部署とご協議いただきました。

鈴木委員には、東谷小学校において、学校支援地域本部事業の取り組みとして、留守家庭児童育成クラブでの読み語りにご出席いただきましたほか、子ども議会を傍聴していただきました。

このほか、全ての教育委員の皆様、7月19日に行われました教科書採択に係る教育委員協議会及び人権オンブズパーソンとの懇談会にご出席をいただきました。

主なものではございますが、ご報告させていただきます。

以上でございます。

石田教育長 只今の報告について、ご意見・ご質問等はありませんか。よろしいですか。

それでは事務状況報告については以上といたします。

石田教育長 では次に、日程第4、報告第10号「専決報告について(平成30年度川西市一般会計補正予算について)」であります。事務局から説明をお願いします。

教育総務課長(武富) それでは、報告第10号「専決報告について(平成30年度川西市一般会計補正予算について)」ご報告申し上げます。

まず、議案書の1ページをご覧ください。

本案件は、急施を要したため、教育長に対する事務委任規則第4条第1項の規定により処理したもので、同条第2項の規定により報告し、承認を求めるものでございます。

内容は、平成30年度川西市一般会計補正予算のうち、教育委員会関係予算について市長に申し出するにつき専決したもので、施設や状況などに応じて2回に分けて行っております。

議案書の2ページをお開きください。

去る6月18日に大阪府北部を震源として発生した地震に対し、緊急的

な対応を行うために、平成30年度予算において、7月12日付で専決第9号として補正予算の専決処分を行ったものです。

補正予算の内容につきまして、補正予算説明書によりご説明申し上げます。議案書の3ページをお開きください。

まず初めに、NO.1は、児童福祉費の保育所維持管理事業の需用費で、補正等の理由は建築基準法に適合しないコンクリートブロック塀の撤去やフェンス設置等のため、310万円を支出し、川西保育所及び川西北保育所において改良工事を実施しようとするものです。

NO.2は、施設費の小学校施設維持管理事業の需用費で、補正等の理由はNO.1と同じく、建築基準法に適合しないコンクリート塀の撤去やフェンス設置等のため、1,300万円を支出し、小学校12校において改良工事を実施しようとするものです。

NO.3は、施設費の中学校施設維持管理事業の需用費で、補正等の理由はNO.1及び2と同じく、建築基準法に適合しないコンクリートブロック塀の撤去やフェンス設置等のため、710万円を支出し、中学校4校において改良工事を実施しようとするものです。

NO.4は、施設費の幼稚園施設維持管理事業の需用費で、補正等の理由はNO.1から3までと同じく、建築基準法に適合しないコンクリートブロック塀の撤去やフェンス設置のため、250万円を支出し、久代幼稚園及び加茂幼稚園において改良工事を実施しようとするものです。

NO.5は、教育施設災害復旧費の中央図書館災害復旧事業の工事請負費で、補正等の理由は地震により緊急に天井改修工事が必要となったため、1,400万円を支出し、天井の耐震化等の改良工事を実施しようとするものです。

続きまして、議案書の4ページをお開きください。

専決第9号と同じく、6月18日に大阪府北部を震源として発生した地震に対し、7月の対応以外の緊急的な対応を行うために、平成30年度予算において、8月8日付で専決第10号として補正予算の専決処分を行ったものです。

補正予算額の内容につきましては、次の議案書5ページをお開きください。補正予算説明書によりご説明申し上げます。

NO.1は、施設費の小学校施設維持管理事業の需用費で、補正等の理由は建築基準法に規定がない万年塀を撤去しフェンスを設置するため、1,270万円を支出し、川西小学校及び桜が丘小学校において改良工事を実施しようとするものです。

NO.2は、生涯学習費の公民館維持管理事業の需用費で、補正等の理

由は建築基準法に適合しないコンクリートブロック塀の撤去やフェンス設置のため、290万円を支出し、緑台公民館において改良工事を実施しようとするものです。

報告は以上です。ご承認賜りますよう、よろしく願いいたします。

石田教育長 説明は終わりました。只今の説明について、質疑・ご意見等はございませんか。

鈴木委員 5ページのNO.1にあります万年塀というのはどういうものですか。

教育総務課長 (武富) 万年塀といいますのは、鉄筋コンクリート製の支柱を立てまして、その間にコンクリートの平板を落とし込んでつくっていく塀のことです。

建築基準法での基準というのはいないんですが、日本工業規格、JIS規格の基準に基づいてつくられている塀ということになります。いわゆるブロックを積み上げたブロック塀ではなくて、支柱を立てて、そこにコンクリートの平板を落とし込んで建てる塀と、そういったものでございます。

鈴木委員 よくわかりました。

石田教育長 よろしいですか。

鈴木委員 はい、どんなものかはわかりました。

石田教育長 ほか。よろしいですか。

鈴木委員 続いて伺いたいんですが、この着手はいつごろからになるのでしょうか。

石田教育長 工事着手。

鈴木委員 はい、そうです。

教育総務課長 (武富) 順次、環境が整ったところから実施はしてあるんですが、一番早いところでは、桜が丘小学校の塀につきましては6月28日から取りかかっているところでございます。6月から7月、8月にかけて、順次実施していると、そういった状況でございます。

鈴木委員 伺ったのは、夏休みのうちに終わったらいいのになと思ったからです。よくわかりました。ありがとうございました。

石田教育長 よろしいですか。

鈴木委員 はい。

石田教育長 よろしいですか。
それでは、お諮りいたします。報告第10号につきまして、これを承認することにご異議はございませんか。

(「異議なし」の声)

石田教育長 ご異議なしと認めます。よって、報告第10号につきましては、承認されました。

石田教育長 では次に、日程第5、議案第42号「川西市立幼稚園規則及び川西市教育委員会公印規則の一部を改正する規則の制定について」であります。事務局から説明をお願いします。

幼児教育保育課長 (丸野) それでは、議案第42号「川西市立幼稚園規則及び川西市教育委員会公印規則の一部を改正する規則の制定について」ご説明申し上げます。
恐れ入りますが、議案書の6ページをお開き願います。
本案は、川西市立幼稚園規則及び川西市教育委員会公印規則の一部を改正する規則の制定について、川西市教育委員会事務処理規則第10条第1号の規定により、議決をお願いしようとするものでございます。
今回の提案理由ですが、川西市立加茂こども園の開設及び川西市立松風幼稚園の廃止に伴い、関係規則を改正する必要があるため、本案を提出するものでございます。
以下、改正する規則内容につきまして、議案書8ページの新旧対照表でご説明いたします。
では、8ページをご覧ください。
上段の第1条において、川西市立幼稚園規則第2条の表から加茂幼稚園と松風幼稚園の項を削除いたします。
次に、第16条の園区において、加茂幼稚園と松風幼稚園の項を削除し、

多田幼稚園の園区に松風幼稚園の園区である緑台 1 丁目から 7 丁目、向陽台 1 丁目から 3 丁目、水明台 1 丁目から 4 丁目、清流台を加えるものです。

なお、松風幼稚園の閉園に伴い園区は多田幼稚園へ引き継ぎますことは、平成 27 年度に川西市立学校校区審議会の答申をいただいております、この答申に基づき規則で規定しようとするものです。

次に、下段の第 2 条において、川西市教育委員会公印規則第 2 条関係の別表において、加茂幼稚園に備えてあります 4 つの公印と、松風幼稚園に備えてあります 4 つの公印、そして、幼児教育保育課に備えてあります加茂保育所長の公印を全て廃止し、新たに川西市立加茂こども園長の印を作成しまして、加茂こども園長が管理すると規定するものでございます。

説明は以上でございます。ご審議賜りますよう、よろしくお願いいたします。

石田教育長 説明は終わりました。只今の説明について、質疑・ご意見等はございませんか。よろしいですか。

石田教育長 それでは、お諮りいたします。議案第 4 2 号につきまして、これを可決することにご異議はございませんか。

(「異議なし」の声)

石田教育長 ご異議なしと認めます。よって、議案第 4 2 号につきましては、可決されました。

石田教育長 次は、日程第 6、議案第 4 3 号「川西市立保育所条例施行規則及び川西市立幼保連携型認定こども園規則の一部を改正する規則の制定について」であります。事務局から説明をお願いします。

幼児教育保育課長 (丸野) それでは、議案第 4 3 号「川西市立保育所条例施行規則及び川西市立幼保連携型認定こども園規則の一部を改正する規則の制定について」ご説明申し上げます。

恐れ入りますが、議案書の 10 ページをお開き願います。

本案は、川西市立保育所条例施行規則及び川西市立幼保連携型認定こども園規則の一部を改正する規則の制定について、市長に申し出するにつき、川西市教育委員会事務処理規則第 10 条第 5 号の規定により、議決をお願いしようとするものです。

今回の提案理由ですが、市立加茂保育所と市立加茂幼稚園を一体化し、川西市立加茂こども園を平成31年4月から開設することに伴い、川西市立保育所条例施行規則から市立加茂保育所の項を削除し、川西市立幼保連携型認定こども園条例第6条の規定に基づき、加茂こども園の定員や学級数の上限、1号園児の園区を定めるため、本案を提出するものでございます。

以下、改正する規則内容につきまして、議案書12ページの新旧対照表でご説明いたします。

では、12ページをご覧ください。

上段の第1条において、川西市立保育所条例施行規則第4条の表から加茂保育所の項を削除いたします。

次に、下段の第2条において、川西市立幼保連携型認定こども園規則第3条の「定員及び学級数」で、加茂こども園の定員を表右側の改正後(案)のとおり、1号認定園児、3歳児の定員を50人、4歳児を60人、5歳児を60人。2号認定園児、3歳児の定員を11人、4歳児を11人、5歳児を11人。3号認定園児、0歳児の定員を6人、1歳児を10人、2歳児を11人と規定いたします。

学級数の上限は、3歳児クラスで3クラス、4歳児クラスで3クラス、5歳児クラスで3クラスといたします。

次に、13ページをお開き願います。

第12条の園区につきまして、別表に加茂こども園の園区としまして、加茂幼稚園の園区を引き継ぎ、南花屋敷1丁目から4丁目まで、加茂1丁目から6丁目までと、1番・2番街区を除く下加茂1丁目と、下加茂2丁目としております。

先ほどの事務状況報告で部長から説明がありましたとおり、去る8月5日に開催しました子ども・子育て会議において、市立加茂こども園の定員と園区についてご説明を申し上げ、おおむね賛同いただける意見を頂戴しております。

説明は以上でございます。ご審議賜りますよう、よろしくお願いいたします。

石田教育長

説明は終わりました。只今の説明について、質疑・ご意見等はございませんか。よろしいですか。

石田教育長

それでは、お諮りいたします。議案第43号につきまして、これを可決することにご異議はございませんか。

(「異議なし」の声)

石田教育長 ご異議なしと認めます。よって、議案第43号につきましては、可決されました。

石田教育長 では次に、日程第7「諸報告」であります。諸報告1「教育委員の新任管理職訪問について」、事務局からご報告をお願いいたします。

学校教育課長
(西門) それでは、諸報告1、平成30年度教育委員学校園所訪問結果につきまして、各随行者からご報告を申し上げます。資料1をご覧ください。

本年度の教育委員学校園所訪問は、13校園所、19人が対象となっております。詳細な報告にはかなりの時間を要しますので、担当いたしました随行者から、その学校園所の顕著なところについてのみ、報告させていただきます。

資料1は、加藤教育委員、服部教育委員、鈴木教育委員、磯部(前)教育委員の順にまとめさせていただいておりますので、順に各随行者より報告させていただきます。

また、全ての報告を終えた後、各教育委員様から補足またはご意見等をいただければ幸いに存じます。

それでは、土本教育支援センター主幹より順にご報告をさせていただきます。

教育支援センター
主幹(土本) それでは、1ページをお開きください。

加藤教育委員が、加茂小学校、岸校長先生を訪問されたことについて、ご報告させていただきます。

岸校長先生は、県教育委員会から市教育委員会事務局学校指導室長を経て学校長となりました。

行政での経験をもとに、夢のある楽しい学校づくりに取り組んでいきたいとの話がありました。そのためには、教職員同士はもちろん、地域とのつながりを大切にしたいという話がありました。

加藤教育委員からは、学校長として、教職員という学校組織をみんなから信頼できる場としての土台づくりについて、行政経験を生かして進めていただきたいとの激励のお言葉がありました。

次に、3ページをお開き願います。

同じく、加藤教育委員が清和台南小学校、大西校長先生及び菅谷教頭先

生をご訪問されました。

大西校長先生は、県教育委員会主任指導主事より清和台南小学校教頭を経て、同校学校長となりました。

学校長となり、教頭の時には見えなかったことが、違う視点から見えるようになったとの話がありました。行政で学んだ教育環境などの仕組みが、学校経営に役立っていることを話されました。

加藤教育委員からは、統合については、川西市の教育のためになると信じて進めております、この地域の学校長として自信を持って取り組んでいただきたいとの激励のお言葉がありました。

菅谷教頭先生は、主幹教諭からの昇進です。中学校の経験だけでなく、日本人学校では、全国の教職員からさまざまな考え方や取り組みを学ぶことができたとの話がありました。特に、学校内の危機管理については、管理職の立場として経験が生かされているとの話がありました。

加藤教育委員からは、主幹教諭として中学校現場での活躍された経験を生かし、小学校の役割を意識して取り組んでいただきたいとの激励の言葉がありました。

次に、5ページをお開きください。

加藤教育委員が、多田中学校、井上校長先生を訪問されたことについて、ご報告させていただきます。

井上校長先生は、東谷中学校教頭から同校学校長となりました。

川西市の中学校においては初の女性校長となり、数少ない立場として、また母親の立場としても物事が考えられる強みを生かしたいとの話がありました。また、学校の危機管理においては、生徒・教員・親、そして地域の立場を思いやり考えることが大切であるとの話がありました。

加藤教育委員からは、人より先に気づくことに教職員がついてくるはずですが、この学校だけでなく、視点を変えて川西市教育全体にもかかわっていただけるよう期待していますとの激励のお言葉がありました。

次に、7ページをお開き願います。

同じく、加藤教育委員が緑台中学校、碁石教頭先生を訪問されました。

碁石教頭先生は、牧の台小学校の主幹教諭からの昇進です。

養護教諭という立場から管理職となられ、危機管理という点ではその経験は大きいとの話がありました。生徒のけがや不調への初期対応だけでなく、教職員へのメンタル面についても、管理職として対応していることについての話がありました。

加藤教育委員からは、養護教諭の経験からも、さまざまな対応について学校長からも学び、将来の川西を担う管理職として頑張ってもらいたいと、

管理職そして現場を守るのが教育委員会の役目ですから、自信を持って取り組んでほしいですとの激励のお言葉がありました。

私からは以上です。

学校教育課長
(西門)

続きまして、9ページをお開きください。

服部教育委員が、久代小学校の伊豆校長を訪問されましたことについて、報告いたします。

伊豆校長は、市教育委員会教育推進部参事からの昇進です。

久代小学校の子どもたちの様子や、子どもたちへの講話内容の工夫について話をされました。また、久代小学校の教職員の様子や川西市全体の教職員の課題について話がありました。

服部教育委員からは、体験学習の意義や子どもたちへの指導について、久代小学校の自然環境や歴史などに関連づけて話されました。また、子どもを取り巻く環境の中で、教職員という存在が大切であるご助言いただきました。

次に、11ページをお開き願います。

緑台小学校の黒山校長と坪田教頭を服部教育委員が訪問されました。

黒山校長は、緑台小学校教頭からの昇進です。

緑台小学校では、溪(たに)の桜で体験学習をさせていただき、子どもたちがせせらぎの音や草のにおいを感じており、それが4年生の里山体験に生かされているという話がありました。

坪田教頭は、市教育委員会教育推進部課長補佐からの昇進です。

緑台小学校の体験学習が地域で行えているのは、里山を守っている地域の方々のおかげであり、その地域への協力も大切であると話がありました。

服部教育委員からは、緑台だけではなく、川西市には地域にあるレベルの高いさまざまな団体が自然環境を守っており、それらの団体と協力しながら、自然だけではなく、いろいろな取り組みを進めていただきたいという激励のお言葉がありました。

私からは以上です。

教育支援センター
所長(荒木)

続きまして、13ページをお開きください。

鈴木教育委員が北陵小学校、佐方教頭先生を訪問されましたことについて、ご報告させていただきます。

佐方教頭先生は、川西北小学校教諭からの昇進です。

新任教頭としてのご自身や教職員の状況について、話題になりました。

鈴木委員からは、佐方教頭自身が子育てと仕事を両方大切にされ歩んで

こられた経験を生かして、多忙な中であってもその実践を教職員に伝え、応援して欲しいこと、地域の力を学校にプラスになるように使って欲しいことについて、ご助言いただきました。

次に、15ページをお開きください。

鈴木教育委員が桜が丘小学校、岩永校長先生を訪問されましたことについて、ご報告させていただきます。

岩永校長先生は、明峰小学校教頭からの昇進です。

学校経営のビジョンからその実現に向け、校長として実践されている具体的な取り組みについて、話題になりました。

鈴木委員からは、学校だよりや校長だよりで岩永校長の考えや実践を発信されていることが、教職員にとっても保護者にとっても大変有効であること、校長自身の個性を発揮して子どもたちや教職員を育てて欲しいことについて、ご助言いただきました。

次に、17ページをお開きください。

鈴木教育委員が川西南中学校、南田教頭先生を訪問されましたことについて、ご報告させていただきます。

南田教頭先生は明峰中学校教諭からの昇進です。

教職員に対する配慮や部活動について、話題になりました。

鈴木委員からは、今後の部活動のあり方について考えていく必要があることや子どもたちのために学校が地域と協力して取り組んでいく必要性があることについてご助言いただきました。

私から以上です。

教育推進部副部長
(学校教育担当)
(株本)

続きまして、19ページをお開きください。

磯部(前)教育委員が川西小学校、上西教頭先生を訪問されましたことについて、ご報告させていただきます。

上西教頭先生は、多田小学校主幹教諭からの昇進です。

教頭職として、業務改善に対する提案や学校経営において大切にしていきたいことについて話題となりました。特に、保護者や地域の方々から信頼されるために、耳を傾け、話を聞くことの大切さを訴えられました。

磯部(前)教育委員からは、信頼関係づくりには、学校長とともに経営ビジョンを明確にすること、そして、学校長とベクトルを合わせて情報発信するとともに経営トップが率先垂範することで、信頼関係が生まれてくるとご指導いただきました。

次に、21ページをお開き願います。

同じく、磯部(前)教育委員が牧の台小学校、加藤校長先生、升村教頭

先生を訪問されました。

加藤校長先生は、牧の台小学校教頭からのご昇進です。また、升村教頭先生は、川西市教育委員会からのご昇進で、1年間の行政経験の後、学校現場への復帰です。

管理職として大切にしていきたいこと、保護者や地域に向けて大切にしていきたいことなどが話題になりました。

加藤校長先生からは、先生方が働きやすい職場環境づくりを進めるとともに、若手教員への声かけを意識していきたいとのことでした。また、情報発信の必要性を感じられており、子どもたちの様子や先生方の取り組みなど、日常の情報発信に努めていきたいとお話がありました。

升村教頭先生からは、みずからの研修の経験を生かし、先生方の資質能力・授業力・教師力を高めていく指導を進めていきたいとのことでした。また、学習規律等を初めとしたルールを教職員で共通理解しながら、指導の統一性を図っていきたいとお話がありました。

磯部(前)教育委員からは、経営のトップとして、子どもたち、保護者や地域の方々からの信頼を育み、若手の先生方の育成に力を入れてくださいとの激励のお言葉をいただきました。

私からは以上です。

幼児教育保育課長
(丸野)

では、23ページをお開きください。

今年度から、保育所並びに認定こども園も新任管理職訪問を開始いたしました。それぞれ1園ずつ訪問しましたので、ご報告させていただきます。

初めに、鈴木教育委員が、川西北保育所、岸田所長を訪問されましたことについて、報告いたします。

岸田所長は、川西北保育所主査からの昇進です。

所長は、周りを見る視野をさらに広げ、職員の状況把握に努めないとい仕事が進まないというご苦労や、子どもさんへの接し方では、一人一人違いや個性があるので、声のかけ方、接し方に気をつけ、保護者から保育に対するクレームが出ないように、子どもさんの様子は丁寧に内容説明することを心がけているというお話がありました。

鈴木教育委員からは、毎日一生懸命な保育は、丁寧な説明で深い理解につながることをよくわかりました、現場ではいろいろ大変なことが多いですが、これからもよろしくお願ひしますとの激励のお言葉がありました。

次に、25ページをお開き願ひます。

ことし4月に開設した牧の台みどりこども園には、磯部(前)教育委員が訪問されました。

李田園長は緑保育所長から、山本園次長は牧の台幼稚園長から着任されました。西川副園長は緑保育所主査から昇進され、清家副園長は牧の台幼稚園教頭から着任されました。

4人とも、施設が新しくなり、すばらしい環境の中でやりがいを感じていると言われ、大変なこととしては、施設が広く最新機器が使いこなせないことや、教育と福祉の違いの理解と融合、職員研修のあり方などを上げられました。

磯部(前)教育委員からは、教育と福祉の風土の違いや価値観を大切に、新たな価値観を見出してほしい、いろいろな問題点はきちんと記録に残して教育委員会に情報提供し、これから開設することも園に生かしてほしい、ことしが最善最良とせず、試行錯誤しPDCAサイクルを回す中で、よりよい教育、よりよい園の運営を目指してほしいとの激励のお言葉とご指導をいただきました。

報告は以上でございます。

石田教育長

只今の報告について、各委員から補足などのご意見をお願いします。

加藤委員

今回は、4校、都合5人行かせていただいたわけですがけれども、思い起こせば、岸室長時代に若生校長のところに行き、若生室長時代に石田校長のもとと泉校長のもとに行き、ぐるっと回って土本主幹と一緒に今度は岸校長のところへ行ったという、一周したんかどうかわかりませんが、非常に感慨を持って行きました。

土本主幹には日程調整いろいろご苦労していただきますと同時に、初めの言葉、終わりの言葉、始まる時にちゃんと、どうしてこの訪問を始めるかということを中心に説明していただき、終わりもしっかりと謝辞まで述べていただきまして、非常にかちつとした学校訪問ができたと思っております。

内容的には、最初から僕ここに行かせてもらうのを決めたのは、まず、岸校長のところには、現場に戻ってどうしてんのかなという様子を見に行きたかったのと、想像どおりというか、随行経験も豊富な岸校長とは、2年、3年、一緒に行きましたんで、随行経験も随分あるので、資料も自分の資料をばちっと用意してはって、4ページにわたるものを用意して、それに基づいて話をしまして、非常に勉強になりました。教頭先生も一緒にいてはったんですけれども、教頭先生のほうにも気を使いながら、非常に有意義な学校訪問となりました。

あとの3校につきましては、選んだ理由というのが、全部女性校長であ

るといふのと、それと、それぞれ履歴が井上先生は家庭科の先生であり、大西先生は音楽の先生であり、碁石先生は養護教諭であるといふ、それぞれの特徴がありながら、また履歴も、井上先生においては、泉さんの薫陶を受けて、校長になったときからもうかなり完成されて、自分の意見を持ってはるのも最初からわかっておりましたし、また、大西校長においては、石田教育長のもとでお勉強されて、新任の教頭先生と一緒にかなり緊張度が伝わってくるような学校訪問にはなりました。碁石先生においては、上中さんも教育委員会にいて長らく一緒でしたから、上中さんがもう随分と指導してくれてはるような、これからも頑張って指導していくといふような話をしてはりました。そういう意図があっただけで、結構楽しかったです。

それと、ついでに、井上さんところの西山教頭も、去年、西山教頭行ってたんで、ちょうどどのくらい成長しているかなと、言葉悪いんだけど、行って見て、ちょっと話を期待して聞いていましたけれども、なかなか教頭2年目としては落ちついてやっておられたのが印象的でした。

ところで、土本主幹、今回の学校訪問に關しまして何かご感想があれば。

教育支援センター主幹（土本） 加藤教育委員から述べられた件で、一番私が心にとめておきたいなと思っただけは、教育委員会はいつでも学校現場の後ろ盾になるといふことで、学校現場を守るといふ役目があるといふことを、どの学校においてもおっしゃられていましたので、それを肝に銘じて、これからも努力を続けていきたいと思ひます。ありがとうございます。

加藤委員 こちらこそ。

石田教育長 加藤委員、よろしいですか。

加藤委員 結構です。

服部委員 僕は、体験学習を中心に先生方にお聞きしたんですけども、もう既に今までずっと何回も同じことを言っていますけれども、川西は体験学習といふのを3、4、5といふふうに、そういう体系化が一番進んだところで、現場としてどういふふうな形で進めておられるのかなといふのをいろいろお聞きしたかったんですけども、私が考えている以上にきちんとそういうことが進められておられて非常に感心しました。

以上です。

鈴木委員 新任管理職の方々がそれぞれ個性的で、また、学校園の運営について明確なビジョンをお持ちであったことに感心しました。その思いが発揮できますように、教育委員会として応援していきたいなと思って帰ってきました。

以上です。

石田教育長 ありがとうございました。各教育委員の先生方にお世話になりました。

石田教育長 それでは、諸報告1については以上といたします。

石田教育長 では、諸報告2「子ども議会の結果報告について」、事務局からご報告をお願いします。

教育支援センター
所長（荒木） それでは、7月28日土曜日に開催いたしました第27回川西市子ども議会についてご報告させていただきます。

第1回事前協議会を5月19日の土曜日に行い、教育長より子ども議員に任命書を授与していただきました。その後、政策調整課の大村課長補佐にご出席いただき、第5次総合計画に基づいた川西市のまちづくりについて、わかりやすく説明をしていただき、子ども議員は熱心にメモをとりながら聞いておりました。

6月17日日曜日の第2回事前協議会では、中学校区ごとの7つの子ども議員のグループに加えまして、公募グループを含めた計8グループで、積極的に意見交換を行い、子ども議会で質問する内容をまとめました。お手元に各グループの質問項目とメンバー表を資料として添付しておりますので、ご覧いただけたらと思います。

今年度も、各学校の児童会や生徒会に子ども議員から働きかけ、できるだけ多数の子どもたちからの意見を持ち寄ったものを土台に質問を取りまとめました。

7月28日土曜、子ども議会当日は、午後1時に開会し、傍聴には、保護者・教職員・議会関係者など90名の方が来られました。今年度も市長には、初めの開会挨拶で子どもたちへの励ましの言葉をいただき、最後の閉会挨拶の中で総括的なお言葉をいただきました。

開会后、グループごとに子ども議員全員が登壇しまして一人ずつ自己紹介を行った後、順番に質問を行いました。各グループの質問に対して、副市長や教育長、各担当部長からご答弁をいただきました。議事の詳しい様

子につきまして、会議録をご覧ください。その後、記念撮影を行いまして、午後3時40分に閉会をいたしました。

なお、今年度も、子ども議員にワークシートを配布し、他のグループの質問や答弁の内容をワークシートに記入するようにいたしました。子ども議員は、2学期にそのワークシートをもとに、各学校で報告の機会を持つ予定でございます。

子ども議会後、子ども議員や傍聴に来られた方々にはアンケートに答えていただいております。

子ども議員におきましては、表にありますように、どの質問においても、肯定的な意見が多かったです。

子ども議員保護者においても、全体的には肯定的な意見が多かったですが、「市政への参画に役立っていると思う。」という項目につきましては、積極的な肯定がやや少なかったです。

傍聴においても、全体として肯定的な意見が多かったです。

以上の結果から、参加者の方からは、おおむね子ども議会を肯定的に捉え、理解を示していただいていると考えております。さまざまなご指摘につきましては、次年度の検討事項といたします。

今後は、子ども議員の中から立候補しました継続議員で子ども議会だよりを作成し、児童生徒や自治会等の地域にも配布してまいります。

また、依頼がありましたら、さまざまな市の行事に参加をしていきます。

今後とも子ども議員の活動にご支援賜りますよう、よろしく願いいたします。

以上をもちまして、子ども議会の報告とさせていただきます。

石田教育長

只今の報告について、ご質問はございませんか。よろしいですか。

鈴木委員

1点、申し上げてもよろしいでしょうか。

議会を傍聴させていただきました。子ども議員の態度が大変立派で、また、指導のスタッフの皆さんが大層細やかな動きをして子ども達の緊張を解きほぐしていらっしゃるのを見てとれました。

答弁の側の言葉遣いや内容が大変適切で、教育的配慮が行き届いていたと思います。質疑・応答が大変よくかみ合っておりまして、子どもたちに真摯に向かい合って、わかりやすい内容で進んでいたと思います。

こんな大がかりな学びの場がありますから、これをぜひカリキュラムに組み入れるという工夫ができないものかと毎年思うのです。といたしますのが、公民の内容は6年の3学期になってからだとはいいましたけれども、

総合の時間ですとか、学級会ですとか、ずっといろんなところで議題を拾い上げて臨まれたと伺いましたけれども、さらに授業に、学習・教育内容に組み込んでの取り組みになったら、みんなのものになるなという思いを強くしました。

それと、大層女性議員が多くて、少しバランスが悪いなという気もしたのです。ともかく回数を重ねて大変よいものになってきているなと思って、喜んで拝見しました。ありがとうございます。ご苦労さまでした。

服部委員

中身を読ませていただいて、僕がすごく感心したのは、「日本一の里山」というところで、それが6回も出てきたというのがすごいなというふうに感じました。

「日本一の里山」というのを子どもたちが意識したというのは、小学校4年生の里山体験学習そのものじゃないかというふうに思います。そういうような体験学習、4年生だけじゃなく、体験学習自体が「ふるさと川西」意識というのに非常に強く影響しているということで、非常によかったなというふうに思いました。黒川が今、土地が売りに出されていますので、ぜひ台場クヌギを守るためによろしく願います。

石田教育長

よろしいですか。

石田教育長

それでは、諸報告2については以上といたします。

石田教育長

では、以上で本日の議事は全て終わりました。

石田教育長

次回の定例教育委員会は、9月20日木曜日午後2時から、庁議室において開会の予定です。

石田教育長

これをもちまして、第12回川西市教育委員会(定例会)を閉会いたします。お疲れさまでした。

[閉会 午後2時49分]

以上会議の事項を記録し、相違ないことを認めましたので、ここに署名いたします。

平成30年9月20日

署名委員 服 部 保

鈴 木 温 美